

議論のまとめ (概要)

体罰根絶に向けた有識者会議

議論の基本姿勢

体罰が繰り返される背景には学校や部活動における構造的な課題

発見や抑制のしくみだけでなく、体罰が生じる悪しき構造を幅広い視点(論点)から改める必要

現状の学校組織や運営の実態の中では相当困難な見直し内容までを提案

子ども目線と危機感を持った
尼崎市あげての根絶の取組

時代の要請に常に適応した健全な教育環境が

学校主体で構築され続けることへの期待

体罰は重大な人権侵害

閉鎖性と勝利至上主義からの脱却

(部活動改革の基本認識)

学校における部活動の位置づけ 9P

- 生徒の自主的、自発的な参加が原則
- 異年齢交流による人間関係の構築、活動を通じた自己肯定感の高揚など教育的意義が高い
- 学校教育の一環として、教育課程との関連を図るよう留意が必要

体罰根絶に向けた各論点単位での議論

体罰が発生する背景・組織風土の課題 12P

【問題の所在】

- 教員の意識
- 体罰を起こしたこと
- 体罰を起こした後の対応

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 「体罰は認められない」という人権意識の徹底
- 2 体罰が発生した場合に、学校管理職や保護者に適切に報告しようとする意識の徹底
- 3 教育委員会及び各学校版「部活動の方針」の策定等
- 4 各部活動単位の「部活動の方針」の策定等

学校の危機管理から見た課題 36P

【問題の所在】

- 市尼バレー部体罰事案における負傷時「緊急対応マニュアル」が機能しなかった原因は何か。今後の危機管理のあり方は。

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 「緊急対応マニュアル」の見直し
- 2 「緊急対応マニュアル」の周知・徹底
- 3 「緊急対応マニュアル」の提示
- 4 救護義務違反をした教員に対する服務監督上の取り扱いの厳格化

人事の仕組みや服務上の課題 29P

I 市立高校における教員人事の流動性の確保について

【問題の所在】

- 異動の停滞(約半数が同一校1.5年以上)
- 部活動顧問の経験年数も長期化

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 市内市立高校間の異動の活性化
- 2 県市間交流の活性化
- 3 他都市の市立高校との交流の促進

II 体罰行為を行った教員への対応

【問題の所在】

- 指導からの除外措置基準の不在
- 懲戒や刑事告発にかかる基準の不在

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 体罰を行った教員を「指導から外す」指針策定
- 2 体罰等ガイドラインの策定
- 3 尼崎市教育委員会懲戒処分標準例の作成
- 4 悪質な体罰を行った教員に対する告発

教育現場への支援体制の充実 45P

【問題の所在】

- 教員の多忙化
- 教員の孤軍奮闘状態(若手の増加・同僚性の希薄化)
→指導に悩む教員への組織的サポート体制が必要

【改善の方向性や具体的提案】

- I 教員が教育活動に打ち込めるためのゆとりづくり
 - 1 教員の負担軽減に向けた取組のさらなる推進
 - 2 部活動指導員等の外部指導員の充実
 - 3 部活動の在り方の再検討
- II 教員(顧問)の指導技術の向上
 - 1 (仮称)部活動指導者ハンドブックの作成・配布等
 - 2 部活動指導に関する定期的な研修の実施
 - 3 スポーツ指導者に関する資格等の取得促進
 - 4 大学院等への長期派遣研修の実施
 - 5 優秀な部活動指導者に対する表彰「グッドコーチ賞」の創設
- III サポート・相談体制の充実
 - 1 教員の外部相談窓口の充実
 - 2 「いくしあ」と連携した取組の充実及びS・SWの積極的活用
- IV 体罰防止研修の充実
 - 1 幅広い分野にわたる研修の充実
 - 2 研修成果の教育現場への還元に向けた取組の充実

スクールガバナンスと部活動 18P

I 学校管理職によるガバナンスの強化

【問題の所在】

- 複雑な部活動組織のガバナンス
- 不明確な指導者間の役割分担
- 校長による校務分掌決定行為の必要性
- 学校の空間的課題

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 学校管理職に部活動の必要な情報が上がり、積極的に関与できる仕組みづくり
→管理職と部活動顧問それぞれの権限と責任を明確化（学校管理職と部活動顧問の職責、部活動顧問の職責監督とコーチ間の職責、校長が部活の最終責任者）
→管理職が部活の状況を把握出来る仕組みづくり（管理職等による定期巡回、部活動顧問会議）

II 児童生徒達から意見が言える仕組みづくり等

【問題の所在】

- 担任や顧問のもとで一日の大半を過ごす学校
→他への相談を躊躇する構造

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 児童生徒（部員）からの相談体制の充実
→学校、教育委員会、市長部局それぞれの立場から
- 2 各部の代表者からなる「（仮称）キャプテン会議」の設置
→生徒自身による課題発見や学校への意見具申の場

補論： 部活動予算や備品等の実態からみたスクールガバナンスの課題 27P

【問題の所在】

- 部費等、保護者の過度な負担
- 寄付等学校以外の支援による運営の不透明化

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 部費決定の事前承認制
- 2 学校備品登録や金品寄付手続の徹底など

開かれた部活動の実現 39P

【問題の所在】

- 顧問の裁量の範囲の広さ
- 部活動の閉鎖性
→これらが顧問の力による支配を生みやすい環境に

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 「（仮称）部活動見学デー」の実施
- 2 生徒がスポーツ指導の在り方について考える機会の確保（市立尼崎高校体育科）

補論： 市立尼崎高校体育科の教育課程の見直しに向けて 40P

【問題の所在】

- カリキュラムのあり方
- 運動部活動と専門科目の一部との一体化の課題

【改善の方向性や具体的提案】

市立尼崎高校体育科の教育課程の見直し

部活動等と保護者との適切な関係について 42P

【問題の所在】

- 部活動への保護者会による強力な支援
- 強豪部活動を中心に進路に影響
→これらは本来望ましい姿だが、負の側面はないか

【改善の方向性や具体的提案】

- 1 「保護者の意向」を隠れ蓑にしない
- 2 保護者への不祥事対応等についての事前説明の徹底

補論： 生徒の自主性を尊重した進路指導の実現に向けて 43P

部活動顧問が生徒や保護者へ優位な立場にならないよう、生徒の主体性を重視した明確な進路方針に基づく進路指導が必要

その他の議論 52P

- 1 市立尼崎高等学校独自の体罰再発予防策についての議論
- 2 全学校園に実施した体罰アンケートの内容についての議論
- 3 令和2年度向け体罰根絶にかかる具体的施策（案）等についての議論
 - 体罰防止研修の充実
 - 匿名報告アプリ STOPit の体罰通報への活用
 - 体罰アンケートの継続実施